

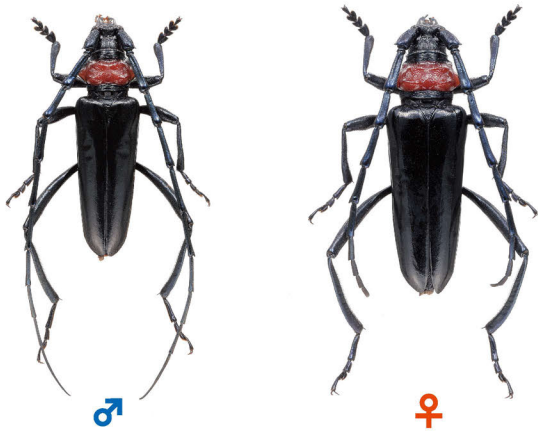
要注意！サクラを枯らす害虫

クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラ・ウメ・モモなど主にバラ科の樹木の内部を食い荒らし、枯らしてしまうこともある特定外来生物です。昨年初めて県内で被害が確認されました。

被害拡大を防ぐため、情報提供と駆除にご協力ください。

成虫の特徴



※ほぼ実物大

- 全体に光沢のある黒色で胸部が赤い
- 体長は2.5cm～4cm
- 活動時期は5月～8月頃

被害木の特徴

- ▶ 被害を受ける樹種はサクラ・ウメ・モモなど
- ▶ 幼虫が木の内部を食い荒らすと、うどん状のフラス(幼虫のフンと木くずが混ざったもの)を大量に排出する
- ▶ フラスが出る時期は4月～10月頃



うどん状のフラス

※成虫・フラスの写真は、伊藤ふくおさん提供



成虫を見つけたら…

その場で捕殺してください。特定外来生物に指定されているため、持ち帰るなど生きたまま移動させると違法行為となります。

※成虫・フラスを発見した場合は、可能であれば写真を撮って下記☎へお知らせください。



フラスを見つけたら…

幼虫が侵入した穴に薬剤を注入するなど対策が必要です。伐採が必要な場合もあります。

⚠ 問い合わせの前に確認してください ⚠

フラスが出ている木の種類は、**サクラ・ウメ・モモ・スモモ・ハナモモ**ですか？

イチジク・カエデ・ツツジなどバラ科以外の樹種からフラスが出ていても、クビアカツヤカミキリの被害ではありません。

☎ 農地以外の場合：最寄りの市町村担当課または県景観・自然環境課 ☎0742-27-8757 FAX0742-22-8276
農地の場合：県病害虫防除所 ☎0744-47-4481 FAX0744-47-4851
詳しくは、🌐 www.pref.nara.jp/2613.htm